

interfm

The278th Programming Deliberation Committee

第 278 回番組審議会 議事録

開催日 2024年5月21日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、望月理恵委員

欠席：安藤美冬委員（審議レポート提出）

議題（審議番組）：+Fruits presents Behind The Music

放送日時：2024年4月16日（火）21:30-22:00

DJ：土佐兄弟・卓也

会社からの説明

毎週火曜日、21時30分から22時に放送。2024年2月から放送を開始した、有限会社Eta・Biosystemの社冠のクライアント番組。DJは、芸人の土佐兄弟・卓也。

音楽を愛し、リスナーに近い存在である卓也が、持ち前のコミュニケーション能力を発揮し、プロのDJからはなかなか出てこないような質問を交えながら、様々な角度からゲストのパーソナルを引き出します。

スタンダードな「いまが旬の曲」、「いま聴きたい曲」、「いま聴いている曲」などの音楽トークから、プライベートな話や裏側まで、ミュージシャンをゲストにお迎えしてお送りする30分のトークプログラムです。土佐兄弟・卓也の音楽愛が溢れているのが伝わり、過去のゲスト出演されたレーベルや事務所の方からのリピーターが多いのも番組の特徴である。

今回の2024年4月16日0A分は、今年結成20周年、さらに4月22日にデビュー15周年を迎えたTHE BAWDIESがゲスト回の前半です。

DJの卓也は、昔からTHE BAWDIESを愛聴し、ライブに足を運んだこともあり、憧れのバンドのメンバーと対面できたことの喜びと音楽愛が溢れる感動の回となりました。

委員からの意見・感想

審議委員A

非の打ち所がないライナーノーツのようなラジオ番組。

DJの声も良くトークのテンションは良いが、0A曲数が少なく感じるため、話しの腰を折ってでも次の曲へいくべき。

エッジが立つように、もう少し切り込むトークの方がインターFMらしいと思う。

社冠の番組だが、クライアントビジネスを調べても出てこなくて不案内な印象。

パブリシティの身内トーク感があるので、余計にも気になる。

審議委員 B

楽しく聴かせて貰った。

流石が芸人、ゲストを盛り上げるすべを知っており、どんどん心を開いていくのが分かった。何よりも、DJ 本人が音楽が大好きであることが伝わり、ゲストもファンも喜ぶ、そして知らない人も耳を傾ける、改めて「好き」のパワーは大きいと感じた。

ゲストの THE BAWDIES の歌詞の話が、リスナーに語りかけていてとても分かりやすく良かった。リスナーやファンにとって、アーティストは音楽の先生でもあり、そしてその土台を作ってくれるのはラジオであることを感じさせる。自分もインタビューしてみたいと思う程良い番組だと思った。

審議委員 C

アーティストが出てくる、FM ラジオのオールスタイルの良いラジオ番組。OA 曲が少なくもっと聴きたかったので、1 時間でも良いのではないかと思う。

DJ 読みのみのパブリシティだけ突如感があったので、ゲストも込みにした方が自然であり、スポンサーとアーティストとの距離感も縮まるのではないかと思う。

審議委員 D

土佐兄弟・卓也さんとゲストたちの初対面とは思えないほど息ぴったりなやり取りが、休日の散歩のおともによい。タイトルのごとく「音楽の裏側」をゲストから引き出していくのにぴったりな人選だと思う。

DJ がゲストのファンで、リスペクトしている今回のような構図は、聴いていて気分が良い。

ひとつ気になったのは、スポンサー企業や商品情報への導線がスムーズではない点。

番組のパブリシティを聴いて「+Fruits」の商品を食べてみたくなりネットで色々と検索してみたのですが、番組公式サイト発見できず、番組公式サイトに URL がリンクされているなど導線が分かりやすいといい。

審議委員 E

DJ の卓也さんが走り切る、飽きさせない 30 分。OA 曲が 2 曲と少ないので工夫して、もっと聴かせて欲しい。

DJ の卓也さんとスポンサーとの関係はもちろんあると思うが、スポンサーのビジネス状況の確認は必要なのかなと思う。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上